

Adams ちょっとすごい事になりました！

G1MRA でやはり、価格は KIT ¥220,000 RTR ¥240,000(税送料別)が効いたんでしょう。安いですがこの仕上がりでこの価格は！と言う事で、G1MRA 期間中の予約だけで、150 台を超えました！（驚）その様な訳で、急きょ 50 台の増産になります。国内の皆様も予約しないと確実に無くなりますのでご注意ください。御注文に際しては、キットと完成の差以外に「S32-15」の後のアルファベットで必ず機種を指定してください。

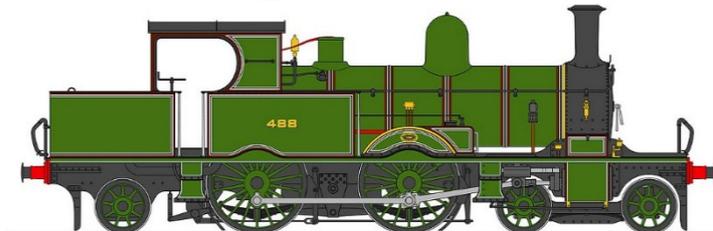


S32-15A L&SWR Adams Green #488, Fully Lined,

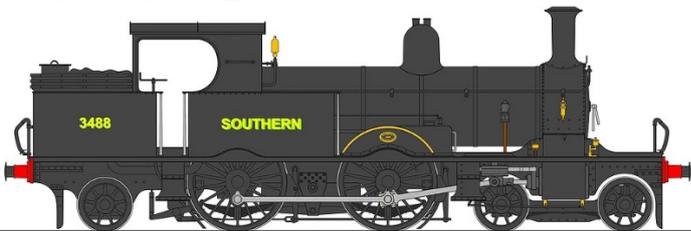


アダムス。完成品からのお届になります。予約者以外は、これに海外送料と通関料が加算されます（御注意下さい）

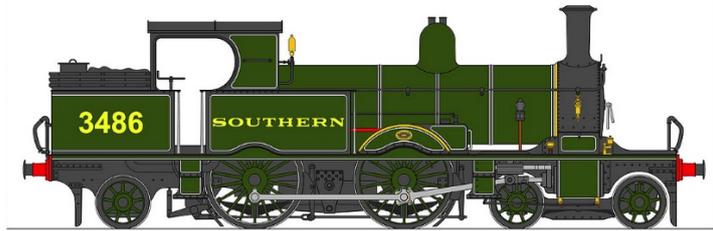
種類は上記写真の原型機以外に、以下の6種類が御用意されます。機種をお間違えの無い様に御予約下さい



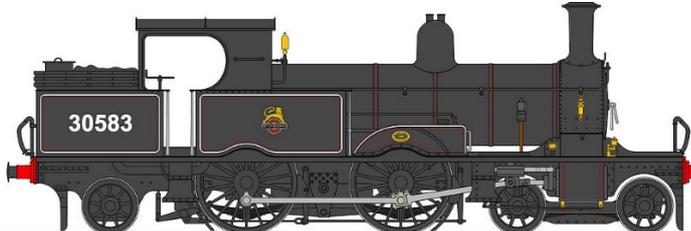
S32-15B L&SWR Drummond Green #488, Fully Lined



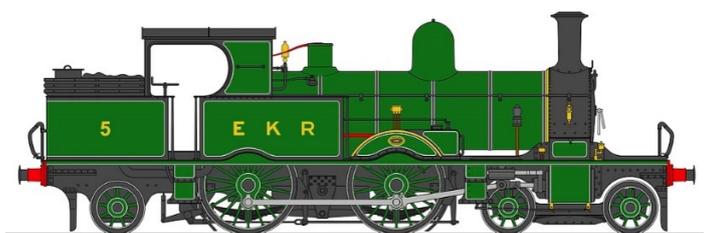
S32-15D SR Plain Black #3488, 'Sunshine' Lettering,



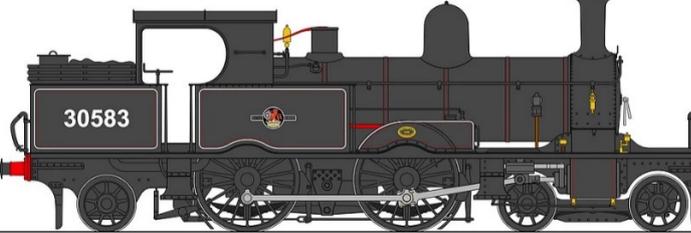
S32-15C SR Lined Maunsell Green #3486,



S32-15G BR Black #30583, Late Crest, R(英国鉄後期型紋章)



S32-15E EKR Lined Ashford Green #5



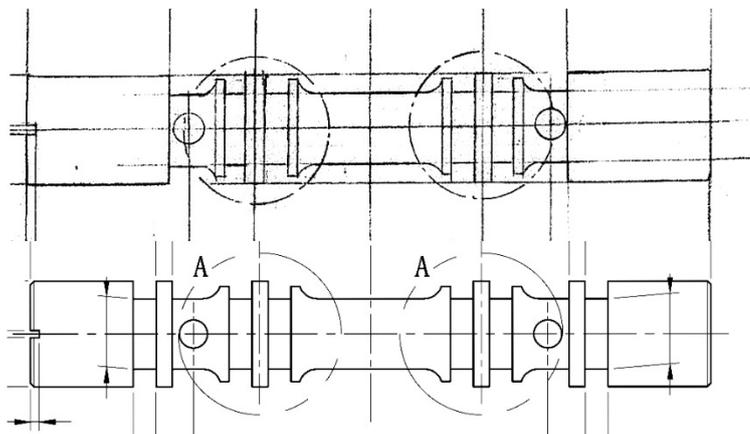
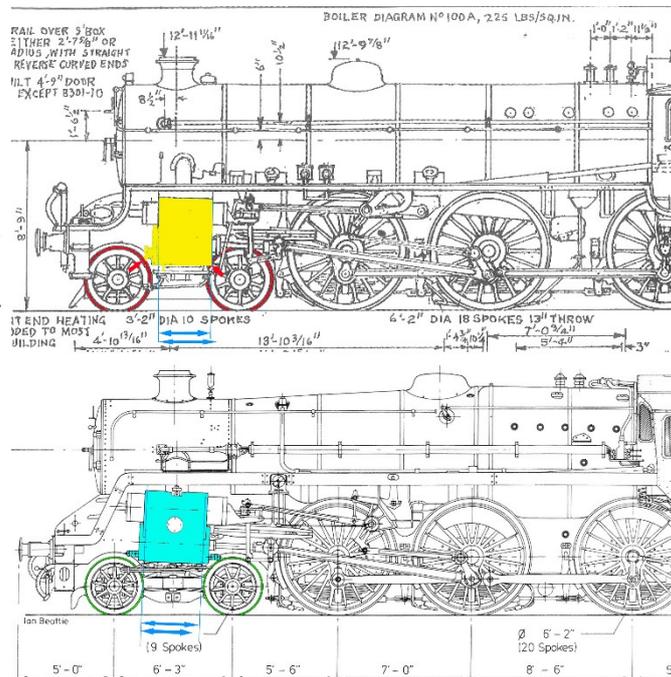
S32-15F BR Black #30583, Early Emblem(英国鉄前期型紋章)

Christmas 向けて！今回は少し technical なお話し (仮・予約受付中)

写真のBRトンプソククラスのB1 Mayflower！に関して何故5MT 迄付いていた、ドレンバルブが無くなったんだ！ピストンバルブでウォーターロックが起きやすいから必要だろう！という意見がG1MRAで聞こえて参りましたので、ここで今回のB1で採用した新機構を少し御紹介しましょう。まず、このクラスの小型機で基本ドレンは要りません。と言うのが我々の基本的な考え方です。僅か10mmにも満たない道行きで溜まった、僅か数CCの凝結水は、昔なら少し前後に動かして、煙突から排出させるのが普通でした。ドレンが有ればセルフスタートさせやすい？確かにロジカルにはYESです。しかし、実際の処、組み立てや、運転が上手い御客様の場合、そうでもありません、上手い人の場合スリップ式の弁装置でも、セルフスタートさせていします。又安っぽいドレンは、狭い容積と僅かな蒸気圧で力を生み出すシリンダの大敵『蒸気漏れ』の温床になります。それを防ぐには昔C62等でも使用した千分台の精密機械加工公差が部品に要求され、それは単純に、部品価格の上昇に繋がります。ですから高額な機種、や高額になるマルチシリンダやコンパウンド機には、標準で装備します。それが我々の考え方になります。

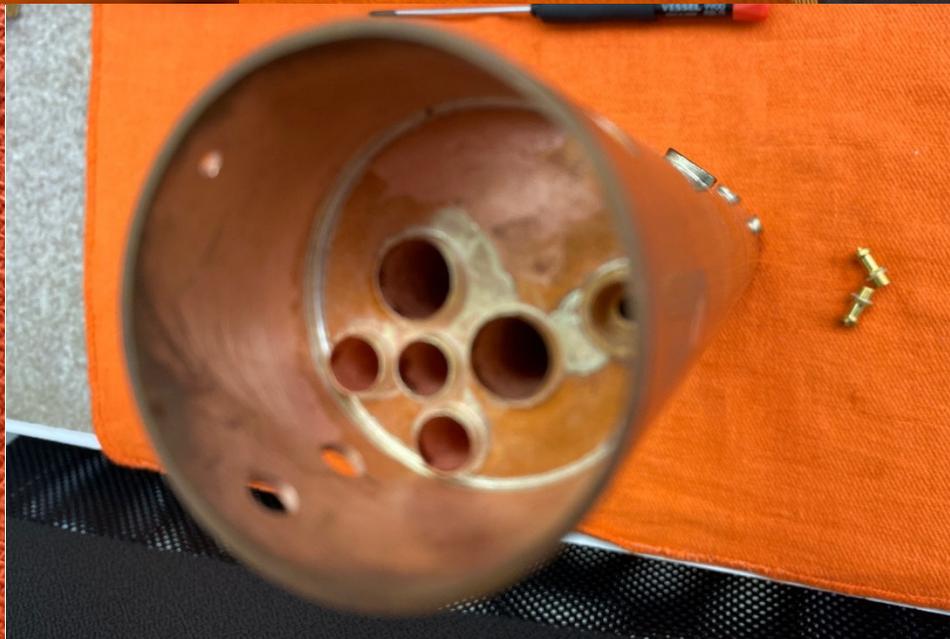
タダだからと言って手をこまねいている訳ではありません

B1では、再生産機で有った9Fや5MTで得ていた反省を基に、新機



種らしく以下の新機軸をしっかり盛り込んでおります。まず件のピストンバルブです。上のイラストをご覧ください。B1では、下のピストンでは溝が両側に1つつつ増えている事が視認できると思います。ピストン

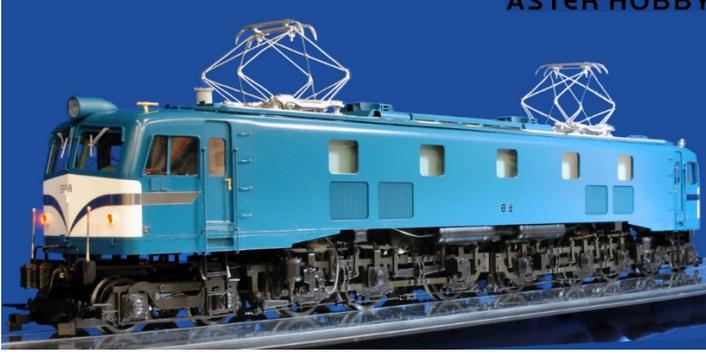
バルブの場合、前後のストロークを受ける部分からの蒸気漏れは防ぎようのない問題でした。これを少しでも防ぐ意味で、この支えている筒部分にも、ルーロン製のピストンバルブを装備して見ました。本来ならばその上でその筒部分も延長したかったのですが、5MTとB1 シリンダー寸法がイラストの様に変わらないんです(涙)これも実は、5MT や9F と同様のドレンを入れる余地が無かった理由でもあります。欧州基準の R2 曲線を回る際、ドレン装置は確実に前台車輪に(赤い矢印部分)当たる事が分かってしまいました。それ以外にも、組立時割れにくく(失敗しにくい)排水弁付きの水面計や追従性を簡単な機構で為し得る先台車、ネジ式で分解組み立てが面倒だった煙突の改善、煙室部分までボイラーを延長し燃焼を改善し且つセラミックシートの貼る作業を低減した新ボイラーは、煙管数を合計 5 本に増やしたにも関わらず、缶水容量は増やしております。



また本来は無いのですが、LNER 仕様1306番のキットが **390,000** 円(御予約者のみの限定生産)が、正式決定しました(デカールでっち上げて貼って置きます)。それに伴い黒い仕様は ¥380,000、緑の BR 仕様は ¥385,000 の予約特価。完成品は、いずれの仕様でも **490,000** 円(共に税送料別価格)予約時は、BR の黒か緑、又はナンバーを必ずご明記のうえお伝え下さい。

増税後も引き続き宜しくお願い申し上げます!

消費税値上げしましたね! 比較のお買い求め易い価格帯な即納可能な在庫モデルは以下の通りです! ぜひ!!



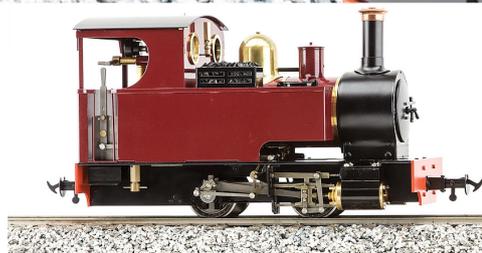
マジですか?

この度、アキユクラフトは、オランダに移管していた代理店から J&M コーチのブランドを買収し、このブランドでこの会社が過去手掛けた製品の再生産に乗り出すことになりました。と思ったら、やっしまいました! 今回の G1MRA で写真の試作機を出展しちいました! という事は、我々が目論む、改良はどうなるんだ! という懸念が残ります。過去皆様に J&M のプルマン客車は販売し、結構、痛い目に会っています。特に台車! ですので、全く仕様を変えない場合は、日本での御提供は積極的に行いません。どうか御容赦下さい。



サブリナ。タルガ予約受付中!

消費税値上げしましたね! ドルコックの廉価版ですが機械的には同じです。比較のお買い求め易いです両機種とも予約価格は税・送料別 12 万円です! 予約後は通関料と航空運賃が加算されますのでご注意ください。



Mikado...ビデオで音を確認して見て下さい

新たに本格的なライブ模型を楽しまれ様とお考えのお客様に、何故ミカドがお勧めなのかを御知り頂きたく以下の You-tube を御紹介させていただきます。以下の You-tube のリンク先→<https://youtu.be/swmr6QmtHAo> ここで聞こえてくるサウンドは、ギミック(電子的に作った偽音)ではありません。同時購入のお客様に限り、アキュラフト製のミカド用の牽引車輛も割引購入可能です。



アメリカンロコモティブワークス(通称アメロコ)社製仕様のバーリントン鉄道・キット ¥485,000



ミルウォーキー鉄道・キット ¥485,000



エリー鉄道



唯一のポールドウィン社製サザン鉄道・キット ¥485,0

完成品とライトミカドは、極僅かですので在庫をお確かめ下さい。継続中のヘビーミカドのキャンペーンで、お決めになられたお客様に限り、ミカド用の各鉄道会社の牽引車両を通常販売価格より10%引きで御購入頂ける権利になります。是非この機会にご活用ください。西海岸のモデルにはこれ！フルーツエクスプレス殊！保冷車(リーファー) →

<https://www.accucraftstore.com/sg-reefer-car>

オールマイティな牽引車両は有蓋車 ↓

<https://www.accucraftstore.com/sg-aar-box-car> そして新

製品のホッパーカーもこのキャンペーンの対応牽引車輛で

す！東海岸で活躍した仕様のヘビーミカドには、この牽引車両ですね！カブースは残っているかは微妙です？

注意: 上記全ての表示価格は全て税送料別価格です



C&O 仕様の場合は、全ての番号を変える事が可能な6輛編成も3種類御用意できます。(ディスカウント対象牽引車輛は機種により鉄道会社を選べない場合があります。予めご了承ください)

ほぼ現状レートで、キャンペーン価格だと各機種税送料別で1~1.2万円程度で御提供可能と思います(提供価格は、為替と便により微動します) 滅茶精密なディテールが再現されていますが、でもプラ製品ですから細かいディテールは、そのうち壊れるんです。でも筐体と脚周りが頑丈ですね!これならホッパーカーとして重い物(鉱石もどき)を乗せても大丈夫です。

新通風機未だ4台残っています。

弊社、アキュラフト共に恒常的に、アクセサリは在庫をする事はございませんので御注意下さい。なので、購入希望者は必ず御予約下さい。通風機は絶対に MUST なアクセサリですので、新規で購入されたお客さまは御注意下さい。

価格: ¥15,000(回転可変式) ¥10,000(通常型) 全ての表示価格は全て税送料別価格です

